

# 阪急沿線 ちょい駅散歩

23駅目



南に繁華街・十三、東にビジネス街・新大阪を望む三国は、どこか懐かしさを感じる住宅街。商店街、銭湯、古民家——辺りを見渡せば、人々の暮らしに寄り添ってきた町の歴史が、そこかしこに顔を出す。さあ、今日は地元気分、ちょいと散歩に出かけてみよう。



三国駅 | 所在地 / 大阪市淀川区三国本町  
設置 / 1910年3月10日

## 変わらぬ“いつも”を探して、街歩き



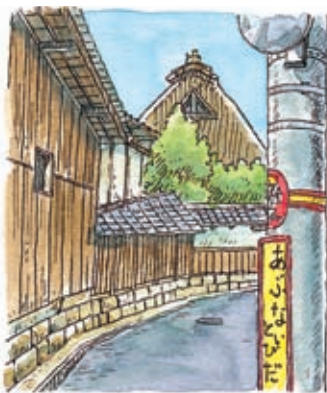
### 商店街点描 店先での会話も弾む、三国住民の台所

駅前から東に伸びる「サンティフルみくに」は、約500メートルに112店が軒を連ねる商店街。買い物客でにぎわう中井食品の店頭には、常時50品ほどのお総菜が並ぶ。次々増える新メニューは「旬のものを食べてほしい」という店主の心意気ゆえ。近くのええとこ豆腐は、別の豆腐店を営んでいた3組の夫婦が共同で開いたお店。毎朝3時過ぎから作る豆腐にはそれぞれの違いが出るというからおもしろい。商店街を一步横道に入ると大阪府下唯一の手造りこんにゃくの店狭川商店が。材料を練るところから全て手作業のこんにゃくは気泡が多く含まれ、煮物や鍋物にぴったり。切り目なしでも驚くほどダシが染み込む。どのお店も「何がエエ?」「これにしとき!」なんて会話をしながらの買い物物が正解!

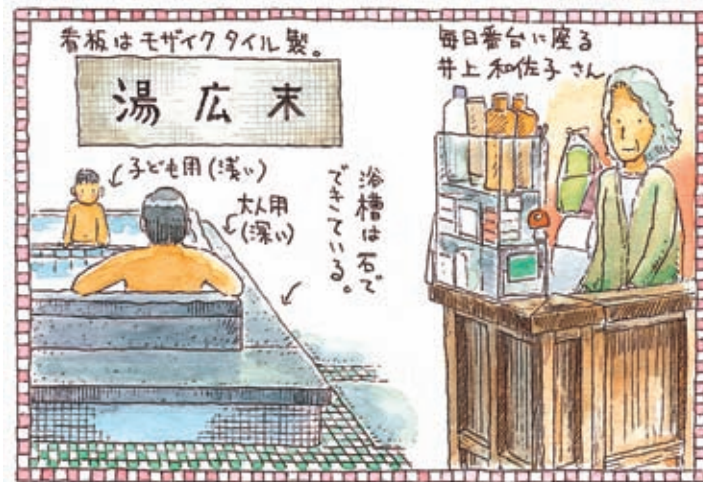
- 【中井食品】9:30~19:30 / 土・日曜・祝日休 / ☎06-6396-3594  
◎夏の人気メニューは「冷麺」330円(9月頃までの販売)。



### あんな所にえびす様!? 古民家は屋根の上にも注目



駅から北東に進んだ自敬寺付近には古い民家がちらほら。中でも築400年以上ともいわれるお屋敷には、今なお茅葺き屋根の母屋や葺が残り、まるで時間が止まったかのよう。さらに辺りを歩いていると目に入るのが、えびす様や獅子などの形をした細工瓦。屋根にちょこんと乗った姿は何ともユーモラス。



### 末広湯 下町の社交場よ永遠なれ!

三国には今もあちらこちらに銭湯を発見できる。昭和初期に開業し、戦時中も営業を続けたという末広湯は、現在番台を守る井上和佐子さんで3代目。開業当時のままだという浴室の石畳、漢数字が書かれた木製のロッカー、パーマ機か見紛う大きなドライヤー…。至る所に残る「昭和」のにおいを感じつつ、少し熱めのお湯につかれば、ご近所同士のよもやま話に花が咲く。いつまでも変わらずここにあってほしい、そんな気分させる銭湯だ。

- 大人410円、小学生130円、幼稚園児以下60円 / 15:00~22:30 / 月曜日休 / ☎06-6391-5266